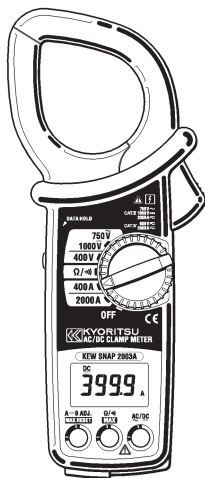


取扱説明書



デジタルクランプメータ

キュースナップ シリーズ
KEW 2003A

 **共立電気計器株式会社**

目 次

1. 使用上の注意（安全に関する注意）	1
2. 特長	5
3. 仕様	6
4. 各部の名称、説明	9
5. 測定を始める前に	12
6. 測定方法	
6-1 直流電流測定	13
6-2 交流電流測定	15
6-3 直流電圧測定	16
6-4 交流電圧測定	17
6-5 抵抗測定	18
6-6 導通チェック	19
6-7 MAX測定	20
7. その他機能	
7-1 スリープ機能	21
7-2 データホールド機能	22
7-3 OUTPUT端子	23
8. 電池の交換	25
9. 製品の廃棄について	26
アフターサービス	27
保証書	

1. 使用上の注意（安全に関する注意）

○本製品は IEC61010-1（電子測定装置に関する安全規格）に準拠して、設計・製造の上、検査合格した最良の状態でお届けされています。この取扱説明書には、使用される方の危険を避けるための事項及び本製品を損傷させずに長期間良好な状態で使用していただくための事柄が書かれていますので、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

△ 警 告

- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
- この取扱説明書は、手近な所に大切に保管し、必要なときにいつでも取り出せるようにしてください。
- 製品本来の使用方法及び取扱説明書で指定した使用方法を守ってください。
- 本書の安全に関する指示に対しては、指示内容を理解の上、必ず守ってください。

以上の指示を必ず厳守してください。指示に従わないと、怪我や事故の恐れがあります。危険および警告、注意事項に反した使用により生じた事故や損傷については、弊社としては責任と保証を負いかねます。

- 本製品に表示の△マークは、安全に使用するため取扱説明書を読む必要性を表しています。尚この△マークには次の3種類がありますので、それぞれの内容に注意してお読みください。

- △危険：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が高い内容を示しています。
- △警告：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
- △注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品および取扱説明書には、以下のシンボルマークが表示されています。それぞれのマークが意味する内容をよく理解した上で御使用ください。

	人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要があります。付いています。
	二重絶縁または強化絶縁で保護されている機器を示します。
	隣接表示の測定カテゴリに対する回路－大地間電圧以下であれば活線状態の裸導線をクランプできる設計であることを示しています。
	交流 (AC) を示します。
	直流 (DC) を示します。
	交流 (AC) と直流 (DC) の両方を示します。

△ 危 険

- 本製品は、測定カテゴリⅣ (CAT. Ⅳ) においてAC/DC600V以上、測定カテゴリⅢ (CAT. Ⅲ) においてAC750V/DC1000V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 雷が鳴っているときは絶対に使用しないでください。また、使用中であってもただちに測定を中止して、本製品を被測定物から外してください。
- 引火性のガスある場所で測定しないでください。火花が出て爆発する危険があります。
- 本製品や手が濡れている状態では、絶対に使用しないでください。
- 測定の際には測定範囲を超える入力を加えないでください。

- 測定中は絶対に電池蓋を開けないでください。
- トランスコアおよび本器のケースが破損または外れている場合には、絶対に測定しないでください。
- 被測定物やその周辺を触ると感電が想定される場所での測定には、絶縁保護具を着用してください。
- トランスコア先端部は被測定導体物をショートしないような構造になっていますが、絶縁されていない導線を測定する場合トランスコアで被測定物をショートしないように注意してください。
- 指定した操作方法および条件以外で使用情况、本体の保護機能が正常に動作せず、本製品を破損したり感電等の重大な事故を引き起こす可能性があります。
- 測定の際は指先等が、バリアや保護用フィンガガードを越えることのないよう充分注意してください。

△ 警 告

- 地域および国の安全基準に従ってください。危険な活線が露出している場合は、感電やアークの爆風による損傷を防止するために、各種保護具を使用する必要があります。
- この測定器を使用しているうちに、本体や測定コードに亀裂が生じたり金属部分が露出したときは使用を中止してください。
- 測定物に測定コードを接続したままファンクションスイッチを切り換えないでください。
- 本製品の分解、改造、代用部品の取り付けは行わないでください。修理・調整が必要な場合は、当社または販売店宛にお送りください。
- 本製品が濡れている状態では、電池交換を行わないでください。
- 電池交換のため電池蓋を開けるときは、測定コードを外しファンクションスイッチをOFFにしてください。
- 測定中にバリア（4. 各部の名称、説明の⑯参照）より上側に触れないでください。感電する可能性があります。
- 測定コードを測定カテゴリⅢ（CAT Ⅲ）以上の環境で使用する場合は、必ずキャップを奥までしっかりと取り付けてください。本体と測定コードで測定カテゴリまたは対地間電圧が異なる場合は、低いカテゴリ（電圧）が適用されます。
- 測定コードのコード内部から金属部分または外装被覆と異なる色が露出したときは、直ちに使用を中止してください。

△ 注 意

- 本製品の使用は住宅・商業用および軽工業の環境に制限されます。付近に強い電磁干渉装置や大電流による大きな磁界がある場合は、正確な測定ができない場合があります。
- 測定を始める前に、ファンクションスイッチを必要なレンジにセットしたことを確認してください。
- 測定コードを使用するときは、プラグを根元まで端子に差し込んでください。
- 電流測定の場合は、必ず測定コードを本器から外してください。
- 高温多湿、結露するような場所及び直射日光の当たる場所に本製品を放置しないでください。
- 使用後は必ずファンクションスイッチをOFFにしてください。長期間使用しない場合は、電池を外し保管してください。
- 本製品のクリーニングには、研磨剤や溶剤を使用しないで中性洗剤か水に浸した布を使って下さい。
- トランスコアは精密にできています。落下させる等強い衝撃を与えないでください。
- トランスコア先端で物を挟まないように注意してください。

○測定カテゴリについて

安全規格IEC61010では測定器の使用場所についての安全レベルを測定カテゴリという言葉で規定し、以下のようにO～CATIVの分類をしています。この数値が大きいほど過渡的なインパルスが大きい電気環境であることを意味します。CATⅢで設計された測定器はCATⅡで設計されたものより高いインパルスに耐えることができます。

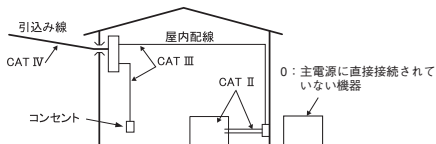
本製品の測定カテゴリはOです。本製品を測定カテゴリⅡ、Ⅲ、Ⅳの環境では使用しないでください。

O：主電源に直接接続されていない他の回路

CATⅡ：コンセントに接続する電源コード付機器の電気回路

CATⅢ：直接配電盤から電気を取込む機器の1次側および分岐部からコンセントまでの回路

CATⅣ：引込み線から電力量計および1次過電流保護装置（配電盤）までの回路



2. 特長

- ティアドロップ型コアの採用で、狭い場所、配線の込み入った場所でも楽に測定できます。
- 0～2000Aまでの広範囲測定が可能です。
- スライドカバーの採用、誤使用防止のための安全設計。
- MAX測定機能により測定中の最大値の読みとりが容易です。
- 長時間のモニターに便利なOUTPUT端子付き。
- 安全規格IEC 61010-1測定CAT準拠の安全設計。
 - 汚染度2 測定CAT IV600V
 - 汚染度2 測定CAT III1000V
- 表示を固定できるデータホールド機能。
 - 高い所や表示の読みとりにくい場所での測定に便利です。
- スリープ機能により、電源切り忘れによる電池の無駄な消耗を防ぎます。
- ブザーによる導通チェックができます。
- フルスケール4000カウントのダイナミックレンジ。
- 40～1kHzのワイドな周波数範囲で測定が可能です。
- トランスコア部にバリアを設け安全性がアップしました。

3. 仕様

●測定範囲及び確度 (23±5℃ 45～85%において)

直流電流 ≡

レンジ	測定範囲	確 度
400A	0～±399.9A	±1.5%rdg±2dgt
2000A	0～±1999A	

交流電流 ～

レンジ	測定範囲	確 度
400A	0～399.9A	±1.5%rdg±2dgt (50/60Hz) ±3.0%rdg±4dgt (40～500Hz) ±5.0%rdg±4dgt (500～1kHz)
2000A	0～1000A	±1.5%rdg±2dgt (50/60Hz) ±3.0%rdg±4dgt (40～500Hz) ±5.0%rdg±4dgt (500～1kHz)
	1001～1999A	±3.0%rdg±2dgt (50/60Hz)

直流電圧 ≡ 入力インピーダンス：2MΩ

レンジ	測定範囲	確 度
400V	0～±399.9V	±1.0%rdg±2dgt
1000V	0～±999V	

交流電圧 ～ 入力インピーダンス：2MΩ

レンジ	測定範囲	確 度
400V	0～399.9V	±1.5%rdg±2dgt (50/60Hz)
750V	0～749V	±1.5%rdg±4dgt (40～1kHz)

抵抗 Ω (2レンジオート)

レンジ	測定範囲	確 度
400Ω	0～399.9Ω	±1.5%rdg±2dgt
4000Ω	150～3999Ω	

抵抗導通 (レンジ固定)

レンジ	測定範囲	確 度
400Ω	0～399.9Ω	±1.5%rdg±2dgt (50±35Ω以下でブザー鳴動)

OUTPUT端子出力インピーダンス：約10k Ω

レンジ	出力電圧DCmV	入力電流	確 度	
直 流	400A	0～400.0mV	0～400A	±1.5%rdg±3mV
	2000A	0～200.0mV	0～2000A	±1.5%rdg±3mV
交 流	400A	0～400.0mV	0～400A	±1.5%rdg±3mV (50/60Hz)
	2000A	0～100.0mV	0～1000A	±3.0%rdg±3mV (40～500Hz)
		100.1～200.0mV	1001～2000A	±5.0%rdg±3mV (500～1kHz)
				±3.0%rdg±3mV (50/60Hz)

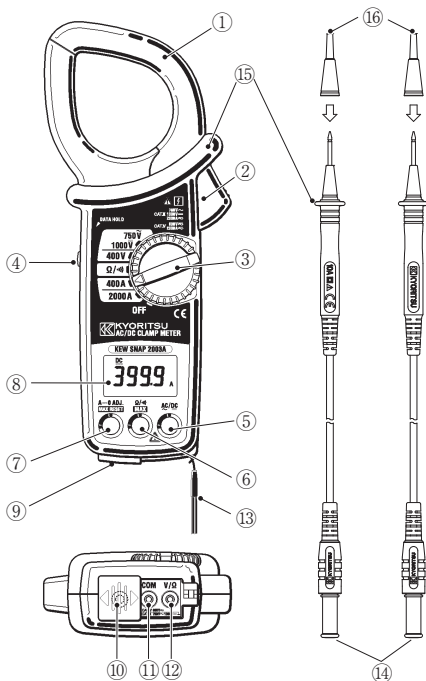
※電磁波対応性 無線周波数電磁界<1V/mでは、規定の確度
(IEC61000-4-3) 無線周波数電磁界=3V/mでは、規定の確度+レンジの1%

- 動作方式 二重積分方式
- 表示 液晶表示 最大3999 単位 記号
- 入力オーバー表示 各レンジにおいて測定範囲を超えた場合、
"OL"が表示する。
- 応答時間 約2秒
- サンプルレート 約2.5回/秒
- 使用環境条件 屋内/屋外使用 高度2000m以下
- 精度保証温湿度範囲 23℃ $\pm$ 5℃ 相対湿度85%以下
(結露しないこと)
- 使用温湿度範囲 0～40℃ 相対湿度85%以下
(結露しないこと)
- 保存温湿度範囲 -20～60℃ 相対湿度90%以下
(結露しないこと)
- 電源 DC3V:R6P(SUM3) 2本
- 消費電流 約9mA
- スリープ機能 スイッチ操作後約10分でスリープ状態
(消費電流約20 μ A)
- 適応規格(安全) IEC 61010-1, 61010-2-032, 61010-2-033,
IEC 61010-031
汚染度2 測定CAT IV600V
測定CAT III1000V
- EMC規格 EN61326-1 EN61326-2-2
EN55011
- 環境規格 欧州RoHS指令適合

- 過負荷保護 直流電流、交流電流 :AC/D2400A/10秒
直流電圧、交流電圧 : AC/D1200V/10秒
抵抗 : AC/DC600V/10秒
- 耐電圧 AC7000V/5秒間
(電気回路と外箱及び電気回路とクランプ
CT金属部の間)
- 絶縁抵抗計 10M Ω 以上/1000V
(電気回路と外箱及び電気回路とクランプ
CT金属部の間)
- 被測定可能導体径 最大約55mm
- 外形寸法 250 (L) ×105 (W) ×49 (D) mm
- 質量 約530g
- 付属品

測定コード	MODEL7107A	… 1セット
電池	R6P (SUM3)	……………2個
携帯ケース	MODEL9094	……………1個
取扱説明書	……………	……………1部
- 別売品 出力コード MODEL7256

4. 各部の名称、説明



- ①トランスコア :電流検出用センサー
- ②トリガー :トランスコア開閉用レバー
- ③ファンクションスイッチ

測定レンジ切換のスイッチです。また、電源スイッチを兼ねており、"OFF"の位置で電源が切れます。

④データホールドスイッチ

表示部の測定値を固定するためのスイッチです。

表示部に **H** マークが表示されます。

⑤AC/DC切換

AC/DCを切り換えるスイッチです。

電源を入れた初期状態ではACモードに設定され、1回押すとDCモードが切り換わります。

⑥モードスイッチ

電流、電圧レンジでスイッチを押すことによりMAX測定になり、LCDに **MAX** が表示され測定値の最大値を表示します。

再度押すことでMAX測定が解除されます。

抵抗レンジでスイッチを押すことで導通測定になり、LCDに **•••** が表示され測定値が約50Ω以下の場合ブザーが鳴ります。

再度押すことで導通測定が解除されます。

⑦0 ADJ. /RESETスイッチ

直流電流での0調整/MAXモードでの指示値のリセット。

直流電流での0調整で **AUTO** のマークを表示します。(400Aレンジでのみ可能)

⑧表示部

表示方式は電界効果型液晶表示で、最大表示は "3999"です。

ファンクション、小数点、記号の表示は、マイコンによって自動的に表示されます。



⑨スライドカバー

OUTPUT端子を使用するときは入力端子が使用できなくなり誤って電圧を入力する危険を防ぎます。

⑩OUTPUT端子（電流測定時のみ使用可能）

AC電流測定時は測定値がDC電圧に変換されこの端子から出力されます

DC電流測定時は測定値がDC電圧に変換されこの端子から出力されます。

この出力は記録計等に接続し、長期間のモニター等に使用可能です。尚、電圧測定、抵抗測定時には、OUTPUT端子は使用できません。

⑪COM端子

電圧及び抵抗測定時に測定コード（黒）を接続する端子です。

⑫V/ Ω 端子

電圧及び抵抗測定時に測定コード（赤）を接続する端子です。

⑬落下防止バンド

使用中手に通し本器の落下を防止するためのバンドです。

⑭測定コード

電圧及び抵抗測定時に入力端子に接続します。
(M-7107A)

⑮バリア(2003A)，保護用フィンガード(M-7107A)

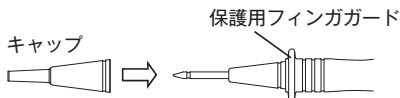
操作中の感電事故を防ぐため最低限必要な沿面及び空間距離を確保するための目印です。

⑯測定コードのキャップ

キャップをはずした状態：CAT II に対応

キャップを取り付けた状態：CAT III/IV に対応

キャップは奥までしっかりと差し込んで装着してください。



測定コードと本体の測定カテゴリが違っている場合は低い方の測定カテゴリが優先されます。

5. 測定を始める前に

- (1) 電池電圧のチェックを行ってください。
ファンクションスイッチをOFF以外の位置にセットしてください。
このとき表示が鮮明で **BATT** マークが表示されていなければ電池電圧はOKです。表示が出ない又は、**BATT** マークが表示されている場合は、8. 電池の交換に従い新しい電池と交換してください。

注 意

ファンクションスイッチがOFF以外の状態で、表示が消えている場合があります。これはスリープ機能により、自動的に電源が切れた状態です。この場合は、一度ファンクション切換スイッチをOFFの位置にした後、スイッチを入れ直すか、ファンクション切換スイッチ以外のいずれかのスイッチを押してください。

このとき表示が消えたままの場合は、電池が完全に消耗していると考えられます。

この場合は新しい電池に交換してください。

- (2) 測定したいレンジ/モードになっているか確認してください。
レンジ/モードが違っていると希望する測定ができません。

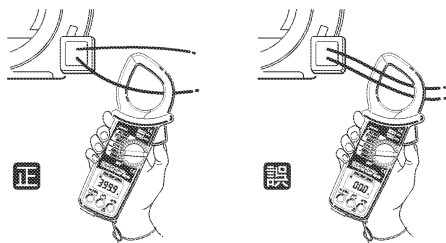
6. 測定方法

6-1 直流電流の測定

△ 危 険

- 感電の危険を避けるため、測定カテゴリⅣ (CAT Ⅳ) においてDC600V以上、測定カテゴリⅢ (CAT Ⅲ) 以下においてDC1000V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 電池蓋を外した状態で絶対に測定しないでください。
- 測定コードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。
- 測定の際は、指先がバリアを越える事のないよう充分注意してください。

- (1) ファンクションスイッチを400Aにセットし、AC/DC切換スイッチを押しDCにします (LCD左上にDCのマークが表示されます)
- (2) トランスコアを閉じた状態で (被測定導体をクランプしない) 0ADJ. スwitchを約1秒間押し、表示をゼロにします。(0ADJ. スwitchは400Aレンジのみ動作)
表示部に **AUTO** マークが表示されます。
- (3) 被測定電流に合わせてファンクションスイッチを切り換えます。



- (4) トリガーを押してコアの先端を開き被測定導体の1本をコアの中心になるようクランプしてください。表示部に測定値が表示されます。

注記◇被測定可能導体径は、 $\phi 55\text{mm}$ です。大きい導体をクランプ
しトランスコアが完全に閉じてない状態では正確な測定がで
きません。

◇クランプ電流の向きは、表側（表示部側）から裏側へ流れる
場合は、プラス+になり裏側から表側へ流れる場合は、マイ
ナス-になります。

◇OUTPUT端子の出力は0ADJ. スイッチを押して表示をゼロ
にしても出力はゼロにならない場合があります。
接続する記録計等でゼロを合わせてください。

6-2 交流電流の測定

△ 危 険

- 感電の危険を避けるため、測定カテゴリⅣ (CAT Ⅳ) においてAC600V以上、測定カテゴリⅢ (CAT Ⅲ) 以下においてAC750V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 電池蓋を外した状態で絶対に測定しないでください。
- 測定コードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。
- 測定の際は、指先がバリアを越える事のないよう充分注意してください。

(1)ファンクションスイッチを400A又は2000Aにセットし、初期状態ではACですが、DCになっている場合はAC/DC切換スイッチを押しACにします。(LCD左上にACのマークが表示されます。)

(2)トリガーを押してコアの先端を開き、被測定導体の1本をコアの中心になるようクランプしてください。

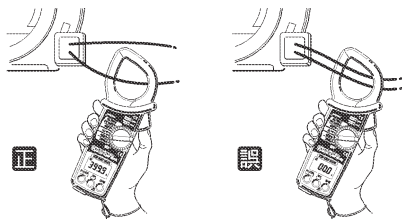
表示部に測定値が表示されます。

注記◇被測定可能導体径は、 $\phi 55\text{mm}$ です。大きい導体をクランプしトランスコアが完全に閉じてない状態では正確な測定ができません。

◇交流電流の測定の場合は、直流電流の測定で行うゼロ調整は必要ありません。また、電流の方向も表示には無関係です。

◇OUTPUT端子の出力は0ADJ. スwitchを押して表示をゼロにしても出力はゼロにならない場合があります。

接続する記録計等でゼロを合わせてください。

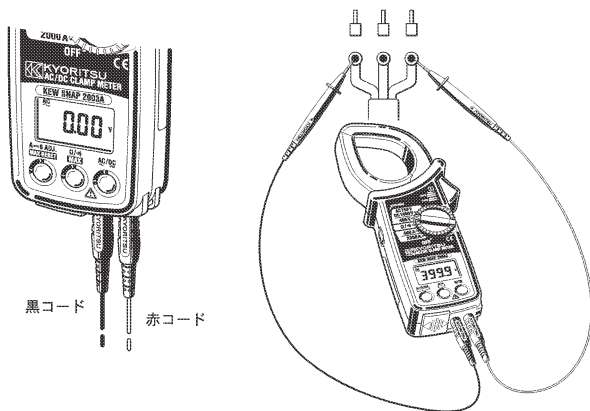


6-3 直流電圧の測定

△ 危 険

- 感電の危険を避けるため、測定カテゴリⅣ（CAT Ⅳ）においてDC600V以上、測定カテゴリⅢ（CAT Ⅲ）以下においてDC1000V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 電池蓋をはずした状態で絶対に測定しないでください。
- 測定の際は、指先が保護用フィンガガードを越える事のないよう充分注意してください。

- (1)ファンクションスイッチを400V又は1000Vにセットし、AC/DC切換スイッチを押しDCにします。（LCD左上にDCのマークが表示されます。）
- (2)スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定コードをV/ Ω 端子に、黒の測定コードをCOM端子に接続します。
- (3)被測定回路の+側に赤の測定コード、一側に黒の測定コードを接続します。表示部に測定値が表示されます。測定コードを逆に接続した場合は、表示部に－が表示されます。

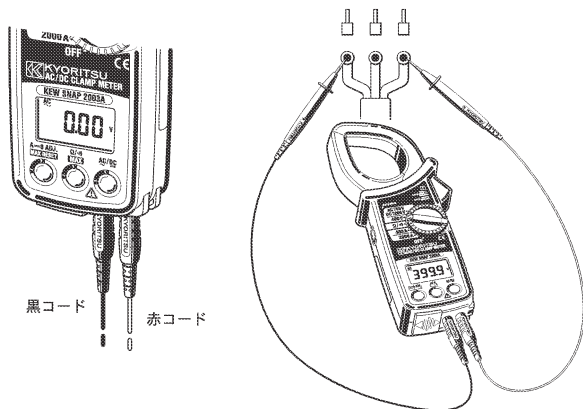


6-4 交流電圧の測定

△ 危 険

- 感電の危険を避けるため、測定カテゴリⅣ（CAT Ⅳ）において AC600V以上、測定カテゴリⅢ（CAT Ⅲ）以下において AC750V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 電池蓋をはずした状態で絶対に測定しないでください。
- 測定の際は、指先が保護用フィンガガードを越える事のないよう充分注意してください。

- (1)ファンクションスイッチを400V又は750Vにセットし、初期状態ではACですが、DCになっている場合はAC/DC切換スイッチを押しACにします。（LCD左上にACのマークが表示されます。）
- (2)スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定コードをV/ Ω 端子に、黒の測定コードをCOM端子に接続します。
- (3)被測定回路に測定コードを接続します。表示部に測定値が表示されます。



6-5 抵抗測定

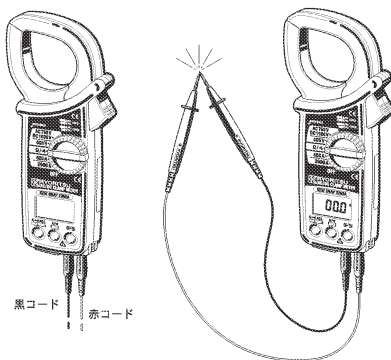
△ 危 険

- 電位のある回路での測定は、絶対にしないでください。
- 電池蓋をはずした状態で絶対に測定しないでください。
- 測定の際は、指先が保護用フィンガガードを越える事のないよう充分注意してください。

- (1)ファンクションスイッチを抵抗 ($\Omega/\cdot\cdot$) にセットします。
- (2)スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定コードをV/ Ω 端子に、黒の測定コードをCOM端子に接続します。
- (3)このときの表示は、オーバー表示であることを確認し、測定コードをショートさせ表示がゼロになることを確認してください。
- (4)被測定抵抗の両端に測定コードを接続します。表示部に測定値が表示されます。

注記◇測定コードをショートしても、表示が完全に0にならない場合がありますが、これは測定コードの抵抗によるもので、不良ではありません。

◇測定コードがオープンの際は、表示はOLとなっています。



6-6 導通チェック (400Ωレンジ固定)

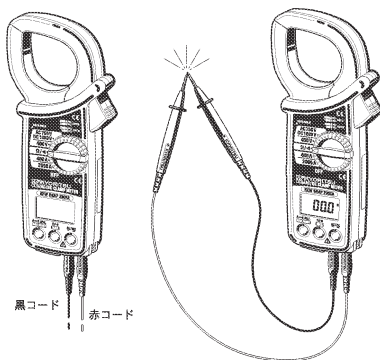
△ 危 険

- 電位のある回路での測定は、絶対にしないでください。
- 電池蓋をはずした状態で絶対に測定しないでください。
- 測定の際は、指先が保護用フィンガガードを越える事のないよう充分注意してください。

- (1)ファンクション切換スイッチを抵抗 ($\Omega/\cdot$) にセットします。
- (2)スライドカバーを左にスライドさせ、赤の測定コードをV/ Ω 端子に、黒の測定コードをCOM端子に接続します。
- (3)モードスイッチを1回押し、導通チェックモードにします。LCD表示部に $\cdot$ マークが表示されます。
- (4)このときの表示は、オーバー表示であることを確認し、測定コードをショートさせ表示がゼロになりブザーが鳴ることを確認してください。
- (5)被測定抵抗の両端に測定コードを接続します。抵抗が約50 Ω 以下のとき導通ブザーが鳴ります。

注記◇測定コードをショートしても、表示が完全に0にならない場合がありますが、これは測定コードの抵抗によるもので、不良ではありません。

◇測定コードがオープンの際は、表示はOLとなっています。



6-7 MAX測定（応答時間：400mS）

Ωレンジ以外の各レンジ測定中の最大値を表示します。

長時間測定することで測定期間中の最大値を測定することができます。

△ 危 険

- 感電の危険を避けるため、測定カテゴリⅣ（CAT Ⅳ）において AC/DC600V以上、測定カテゴリⅢ（CAT Ⅲ）において AC750V/DC1000V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 電池蓋をはずした状態で絶対に測定しないでください。
- 測定コードを取り付けた状態で、電流測定をしないでください。
- 測定の際は、指先が保護用フィンガガードを越える事のないよう充分注意してください。

(1)ファンクションスイッチで測定するレンジにセットします。

(2)モードスイッチを押し、MAX測定モードにします。

表示部に **MAX** の文字表示されます。

(3)正しい測定値を得るため、測定準備の完了後（クランプまたは測定コードの接続後）、一度リセットスイッチを押します。

(4)各測定と同じ手順で測定します。測定中の最大値が表示されます。

(5)通常の測定に戻る場合は、再度モード切換スイッチを押すことで通常の測定に戻ります。

注記◇データホールド機能の使用はできません。

◇長時間の MAXを測定する場合は、7-1 スリープ機能の項目を参照しスリープ機能をキャンセルして下さい。（キャンセルしない場合、約10分でスリープ状態になります）

7. その他機能

7-1 スリープ機能

注 意

スリープ（パワーダウン）状態でも、わずかながら電流を消費しますので、使用されないときは、必ずレンジ切換スイッチを“OFF”にしてください。

電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぎ、電池寿命を延ばすための機能です。ファンクションスイッチまたは他のスイッチ操作後約10分間で自動的にスリープ（パワーダウン）状態になります。操作を再開するには、ファンクションスイッチを一度 OFFにするか、いずれかのスイッチを押すことでスリープ状態から復帰し通常の測定ができます。

[スリープ機能の解除]

スリープ機能の解除は、データーホールドボタンを押したまま、電源を入れることでスリープ機能は解除されます。

この時電源を入れてから約3秒間表示部に "P. OFF"の表示が出ます。再度スリープ機能を働かせるには、データホールドボタンを押さないで電源を入れ直してください。

注) ◇OUTPUT端子に出力コードを差し込んだ時は、スリープ機能は動作しません。

出力コードを抜いた時点から約10分でスリープ状態になります。

7-2 データホールド機能

測定した値を表示部に固定する機能です。データホールドスイッチを1度押すとホールドの状態になりそのときのデータが保持され、入力に変化しても表示は変わりません。表示部右上に **H** のマークが表示します。

データホールドを解除するには、データホールドスイッチをもう一度押します。

注) ◇データホールド中にスリープ機能が働くと、ホールドは解除されます。

◇MAXモードでの使用はできません。

7-3 OUTPUT端子（電流測定時のみ使用可能）

△ 危 険

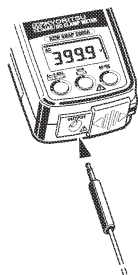
- 感電の危険を避けるため、測定カテゴリⅣ (CAT Ⅳ) においてAC/DC600V以上、測定カテゴリⅢ (CAT Ⅲ) 以下においてAC750V/DC1000V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。
- 電池蓋をはずした状態で絶対に測定しないでください。
- OUTPUT端子には、絶対に電圧を加えないでください。

(1)スライドカバーを右側へスライドさせ（COM端子/VOLT端子を塞ぐ）OUTPUT端子に出力コードを差し込みコードを記録計等の入力端子に接続します。

(2)ファンクションスイッチを測定レンジに合わせます。

（400A/2000Aのみ使用可能）

これ以後の各操作はそれぞれの測定方法により測定します。



注) ◇被測定可能導体径は、 $\phi 55\text{mm}$ です。大きい導体をクランプしトランスコアが完全に閉じてない状態では正確な測定ができません。

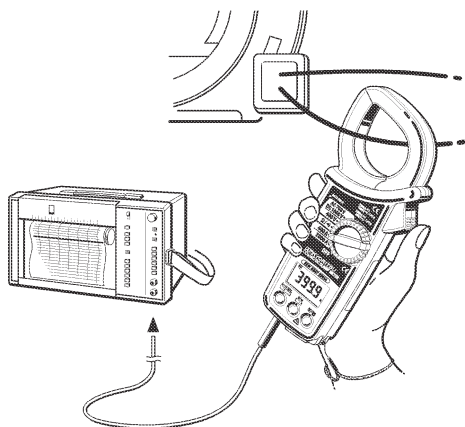
◇交流電流の測定の場合は、直流電流の測定で行うゼロ調整は必要ありません。また、電流の方向も表示には無関係です。

◇OUTPUT端子の出力は0ADJ. スイッチを押して表示をゼロにしても出力はゼロにならない場合があります。

接続する記録計等でゼロを合わせてください。

◇OUTPUT端子に出力コードを差し込んだ時は、スリープ機能は動作しません。出力コードを抜いた時点から約10分でスリープ状態になります。

◇OUTPUT端子の出力は3. 仕様の通りで出力に合わせて記録計等の感度をあわせて下さい。



8. 電池の交換

△ 警 告

- 感電事故を避けるため、電池交換の際はレンジスイッチを、必ずOFFにし、測定コードを本体から外してください。

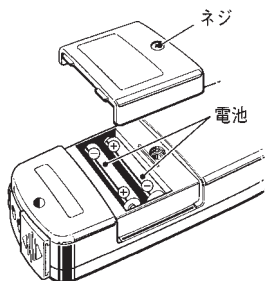
注 意

- 電池は新しい物と古い物を混ぜて使用しないでください。
- 電池の極性を間違えないよう、ケース内の刻印の向きに合わせて入れてください。

電池の電圧警告 **BATT** マークが表示部の左下に表示されたら、新しい電池と交換してください。

また、電池が完全になくなっている場合は、表示部が消え、**BATT** マークも表示されませんので注意してください。

- (1)電源スイッチをOFFにします。
- (2)本製品背面の下部に付いている電池蓋のネジをゆるめ電池蓋を外します。
- (3)新しい電池と交換してください。電池はR6P (SUM3) タイプ1.5V乾電池2本です。
- (4)電池蓋を取り付け、ネジを締めてください。



9. 製品の廃棄について

(この指令は EU 圏内のみ有効です。)

この製品は、WEEE指令マーキング要求に準拠します。

張付けされたラベルは、この電気電子製品を一般家庭廃棄物として廃棄してはならないことを示します。

製品のカテゴリ

WEEE指令の「付属品1」に示される製品タイプに準拠して、この製品は"監視及び制御機器"の製品として分類されます。



アフターサービス

- 修理・校正を依頼されるには
お買い上げいただいた販売店または弊社サービスセンター修理グループにお送りください。
- 製品のご使用に関するお問い合わせは
弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 校正周期について
本製品を正しくご使用いただくため、定期的（推奨校正周期1年）に校正することをおすすめいたします。
- 補修用部品の保有期間
本製品の機能・性能を維持するために必要な補修部品を製造打ち切り後、5年間を目安に保有しています

■ホームページのご案内

www.kew-ltd.co.jp

- 新製品情報
- 取扱説明書／ソフトウェア／単品カタログのダウンロード
- 販売終了製品情報

ご使用に関するお問い合わせは

共立電気計器 お客様相談室

電話受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く)

 **0120-62-1172**

※折り返しお電話させていただく場合がございますので
発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。
※フリーコールをご利用いただけない場合は、最寄りの
弊社営業所へおかけください。

修理・校正に関するお問い合わせは

共立電気計器 サービスセンター

〒797-0045 愛媛県西予市宇和町坂戸480

 **0894-62-1172**

修理・校正を依頼される場合は事前に電池の消耗、
ヒューズや測定コードの断線を確認してから
輸送中に損傷しないように十分梱包した上で
弊社サービスセンターまでお送りください。

保証書

KEW2003A	製造番号
保証期間 ご購入日(年 月 日)より1年間	

共立製品をお買い上げいただきありがとうございます。保証期間内に正常なご使用状態で万一故障が生じた場合は、保証規定により無償修理をさせていただきます。本書を添付の上ご依頼ください。

お名前
ご住所
T E L

◎本保証書に製造番号、ご購入日、およびお名前、ご連絡先をご記入の上、大切に保管してください。

◎本保証書の再発行はいたしません。

◎本保証書は日本国内でのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

保証規定

保証期間内に生じた故障は無償で修理いたします。

但し、下記事項に該当する場合は対象から除外させていただきます。

1. 取扱説明書と異なる不適切な取扱い、または使用方法が原因で発生した故障。
2. お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障。
3. 弊社サービス担当者以外による改造、修理が原因で生じた故障。
4. 火災、地震、水害、公害及びその他の天変地異が原因で生じた故障。
5. 傷など外観上の変化。
6. その他弊社の責任と見なされない故障。
7. 電池など消耗品の交換、補充。
8. 保証書のご提出がない場合。



®

共立電気計器株式会社

本社 〒152-0031 東京都目黒区中根 2-5-20
東京オフィス ☎ 03 (3723) 7021 FAX. 03 (3723) 0139